

第39回デメンシアカンファレンスを開催

2018年6月12日

6月12日（火）に富山大学が担当する北陸認知症プロフェッショナル医養成プラン（認プロ）「第39回デメンシアカンファレンス」を開催しました。

今回のカンファレンスには、金沢大学、富山大学、福井大学、金沢医科大学、国立病院機構医王病院、石川県立高松病院、国立病院機構北陸病院、谷野呉山病院、魚津緑ヶ丘病院、福井県立すこやかシルバー病院の10施設が参加しました。

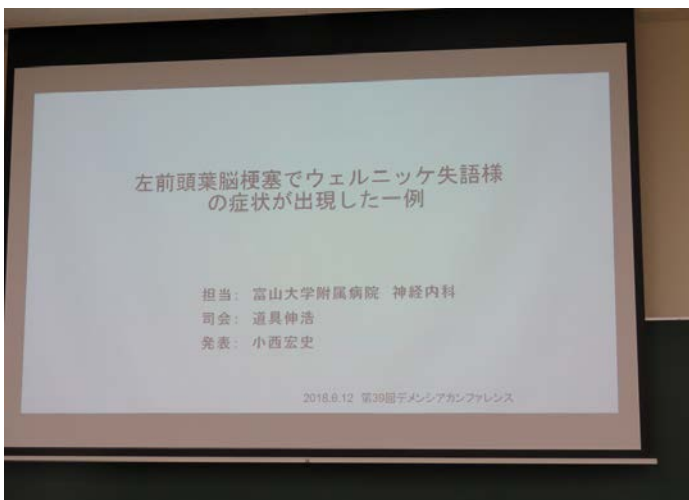
「左前頭葉脳梗塞でウェルニッケ失語様の症状が出現した一例」のタイトルで、富山大学からの症例報告が進められ、各大学、病院間で活発に質疑応答や意見交換が行われました。



症例発表の様子（富山大会会場）



富山大会会場の様子



症例のスライド



質疑応答

第 39 回デメンシアカンファレンス 報告要旨

『左前頭葉脳梗塞でウェルニッケ失語様の症状 が出現した一例』

発表者：小西宏史（富山大学附属病院 神経内科）

司 会：道具伸浩（富山大学附属病院 神経内科）

【要 旨】

【症例】59 歳女性、右利き、看護師。

X 年 4 月 25 日から言葉が出にくいことを自覚し、4 月 28 日に言語障害を同僚から指摘され救急受診した。

身体所見では高血圧があり、神経学的所見は著しい喚語困難や保続を認めたが運動、感覚に特記すべき異常を認めなかった。神経心理学的所見は、発話が流暢で、錯語と喚語困難、迂言を認めた。聴覚的理解では文レベルの低下、復唱も文レベルの低下があり、語の想起が 4 語/分と低下していた。文の読解や計算が軽度低下しており、書字は漢字や仮名に錯書があった。採血は脂質異常症のみであった。頭部 MRI では左中前頭回、下前頭回の三角部後方 1/3 と弁蓋部に梗塞巣を認め、中心前回は保たれていた。脳梗塞の一般的治療を行い、言語リハビリテーションを行うことで、失語症状は次第に改善した。

【考察】本症例は文の理解障害があり、喚語困難や錯語に加え、復唱の障害を認めたことから、感覚性失語と考えた。復唱の障害は、把持力の低下によるワーキングメモリーの障害と音韻の理解障害の 2 種類がある。本症例の復唱は、音韻の誤りが見られず、言語性スパンに低下を認めたことから、ワーキングメモリーの障害と考えられた。言語性ワーキングメモリーは、左上側頭回から縁上回を経て、前頭葉へと伝わる音韻ループ系と、前頭前野が基盤となり、背外側前頭前野、前部帯状回などが重要な役割を果たす中央実行系がある。本症例は中前頭回から下前頭回にかけての脳梗塞があり、超皮質性感覚失語に言語性ワーキングメモリーの障害を合併して生じた感覚性失語と考えた。

【質問・意見】

質問：金沢大学 山田正仁 先生

「この患者の失語症状は、急速に回復したのでしょうか？それとも徐々に回復していったのでしょうか？」

回答：入院中はあまり変化がなく、回復期リハビリテーション病院で発表者が何度か診察していったところ、次第に言語機能が回復していきました。退院後に仕事にも少し復帰できるようになりました」

コメント：

入院が発症してから数日経過しており、脳梗塞としては完成した状態でした。再開通などによる急激な症状の回復はありませんでした。回復期リハビリテーション病院から退院したら、単語がかなり話せるようになっており、語の想起も10個以上出るようになっていました。

認知症（デメンシア）とは異なる病態であるが、症状や診断の過程が特徴的であったため症例を提示しました。



文部科学省・課題解決型高度医療人材養成プログラム
北陸認知症プロフェッショナル医養成プラン(認プロ)

第39回デメンシアカンファレンス

「左前頭葉脳梗塞で ウェルニツケ失語様の症状が 出現した一例」

平成30年6月12日(火)18:30~20:00

担当：富山大学 神経内科

対象：認プロ参加施設及びその他の施設の医療関係者
(医療系大学の学生含む)

会場：認プロ参加施設テレビ会議システム設置場所(〇…参加者受け入れ可)

- 〇・金沢大学(医薬保健学域医学類G棟2階第4講義室)
- 〇・富山大学(附属病院2階カンファレンスルーム2)
- 〇・福井大学(附属病院2階キャンサーボード室)
- 〇・金沢医科大学(基礎研究棟3階大学院セミナー室)
- 〇・国立病院機構医王病院(地域医療研修室)
・石川県立高松病院(医局会議室)
- 〇・国立病院機構北陸病院(特殊診療棟2階小会議室)
・谷野呉山病院(共通棟1階ミーティング室)
- 〇・魚津緑ヶ丘病院(5階会議室)
- 〇・福井県立すこやかシルバー病院(管理棟2階応接室)

※申込不要

- ・出席される方は、受付で出席簿に氏名等をご記入ください。
- ・教育コース履修者の方は、本人保管用の受講票を受理の上、検印を受けてください。

お問合せ先
北陸認プロ運営事務局
〒920-8640 金沢市宝町13番1号
TEL:076-265-2149
FAX:076-234-4208
E-mail:ninpro@adm.kanazawa-u.ac.jp
URL:http://ninpro.jp/